

## 日本地理学会 2024 年春季学術大会および同大会「令和6年能登半島地震緊急公開シンポジウム」に参加、発表しました（2024/3/19-21）

テーマ：災害科学、自然地理学、人文地理学、地理情報学、令和6年能登半島地震

会場：青山学院大学 青山キャンパス

URL：<https://www.ajg.or.jp/meeting/2024spring/>  
<https://ajg-disaster.blogspot.com/2024/03/>

2024年3月19日（火）～21日（木）の3日間、日本地理学会の春季学術大会が、青山学院大学青山キャンパス（東京都渋谷区）で開催されました。（公社）日本地理学会は、1925年に設立された、地理学に関する学理およびその応用に関する研究と、地理教育・社会科教育を含む地理学の進歩普及を図る事業を行う学会であり、防災学術連携体、日本地球惑星科学連合（JpGU）等を構成する学協会の一つです。

本大会では3月19日（火）に、今年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」に関する緊急公開シンポジウムが、本学会災害対応本部の主催により開催されました。当研究所からは、緊急公開シンポジウムにおいて1件の口頭発表、3件のポスター発表を行ったほか、複数名が出席し議論に参加しました。一般セッションでも1件の口頭発表、4件のポスター発表を行いました。発表要旨は後日、DOIを付与してJ-stage上で公開されます。なお、発表8、9は今年度災害レジリエンス共創研究プロジェクトの成果の一部です。

※下線は当研究所の構成員

### 【令和6年能登半島地震 緊急公開シンポジウム】

#### 口頭発表

1. 原 裕太・齋藤 玲・山下良平（石川県立大）・武田公子（金沢大）：大規模災害の復旧復興期における人文社会系・計画系諸科学の連携と地理学の貢献可能性

#### ポスター発表

2. 永田彰平・マス・エリック・武田百合子・越村俊一：令和6年能登半島地震発生後の人流変化
3. 鈴木比奈子（栗駒山麓ジオパーク推進協議会）・蝦名裕一：文化遺産防災マップを用いた能登半島地震への対応事例
4. 石村大輔（東京都立大）・福島 洋・遠田晋次・高橋直也（本学理学研究科）・岩佐佳哉（大分大）・高橋尚志・Luca Malatesta（GFZ Potsdam）：2024年能登半島地震に伴う能登半島北東部の地震時変位

### 【一般発表】

#### 口頭発表（海外地域研究セッション）

5. [405] 原 裕太：中国における穀物生産・消費の地域性と高度経済成長期を通じた変化

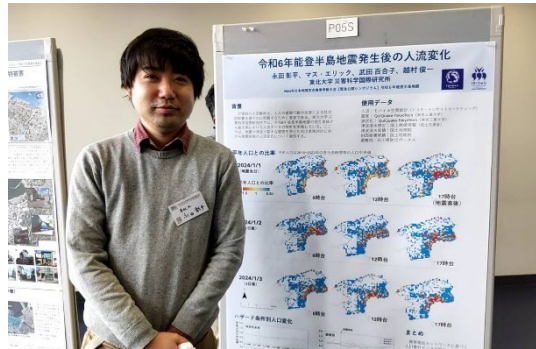
#### ポスター発表

6. [P018] 高橋尚志・太矢敦士（信州大）・石村大輔（東京都立大）：画像解析を用いた相模川中流域における河成段丘礫の円磨度の計測
7. [P044] 鈴木比奈子（栗駒山麓ジオパーク推進協議会）・蝦名裕一・吉森和城（防災科研）・半田信之（防災科研）・三浦伸也（防災科研）・目時和哉（岩手県立博物館）・原直史（新潟大）：文化遺産防災マップの構築と災害対応への活用
8. [P056] 甲斐智大（大分大）・原 裕太・高場智博（五島列島ジオパーク推進協議会）：五島キリシタン—仏教集落の社会的統合に保育所が果たした役割と残存する不平等
9. [P082] 高場智博（五島列島ジオパーク推進協議会）・原 裕太・甲斐智大（大分大）：五島列島福江島における潜伏キリシタン集落の立地と視認性——仏教集落の比較を通じて

（次頁へつづく）



令和6年能登半島地震・緊急公開シンポジウムで発表する原裕太助教



令和6年能登半島地震・緊急公開シンポジウムで発表する永田彰平助教



ポスターセッションで発表する高橋尚志助教



会場校の様子

2024年日本地理学会春季学術大会  
 緊急公開シンポジウム S1 (公開)

# 令和6年能登半島地震

2024年3月19日(火) 9:00 ~ 12:00  
 青山学院大学青山キャンパス 17号館 3階 17309室  
 主催：日本地理学会能登半島地震災害対応本部  
 オーガナイザー：鈴木康弘(名古屋大)、青木賢人(金沢大)、田中耕市(青山学院大)、佐藤 浩(日本大)

**プログラム** **どなたでも参加できます!**  
 (17号館3階受付にお立ち寄りください)

前半司会：佐藤 浩(日本大) (\*は招待講演)

- 9:00-9:05 開会の挨拶 (災害対応本部長 善本健二(早稲田大))
- 9:05-9:15 青木賢人・林 紀代美(金沢大)：能登半島の地域的特徴およびその震災への影響
- 9:15-9:30 \*杉盛啓明(珠洲市役所)：珠洲市の被災状況と復旧・復興に向けた課題
- 9:30-9:45 \*菅野 拓(大阪公立大)：石川県庁を中心とした能登半島地震対応へのアクション・リサーチー広域避難に焦点をあててー
- 9:45-10:00 \*松原 宏(福井県立大)：能登半島地震による地域経済への影響と復興に向けた課題
- 10:00-10:10 鈴木康弘(名古屋大)：能登半島地震直後の地理学的調査の社会的意義
- 10:10-10:20 質疑・応答
- 10:20-10:30 後藤秀昭(広島大)ほか：令和6年能登半島地震に伴う海岸の隆起と海底活断層
- 10:30-10:40 中壁貴元(国土地理院)ほか：令和6年能登半島地震に伴う斜面崩壊・堆積分布図及び津波浸水域推定図の作成と提供
- 10:40-10:50 小岩直人(弘前大)ほか：令和6年能登半島地震による石川県内瀬町における液状化の被害
- 10:50-11:00 小倉拓郎(兵庫教育大)ほか：令和6年能登半島地震で隆起した海岸地形を対象とした高精度地形データの取得と活用
- 11:00-11:10 荒木一規(立命館大)：能登半島における救援活動の困難性と集落の孤立は予測できたのではないのかー南海トラフ地震を見据えて地理学にできることー
- 11:10-11:20 原 裕太(東北大)ほか：大規模災害の復旧復興期における人文社会系・計画系諸科学の連携と地理学の貢献可能性

後半司会：鈴木康弘(名古屋大)

- 11:20-11:35 ポスター発表12件の紹介 (ポスターは17号館4階ラウンジに掲示(19日9:00~17:00))
- 11:35-12:00 質疑・討論 (ポスター発表者や会場から)

公益社団法人日本地理学会 <http://www.jag.or.jp/> Email: [office@jag.or.jp](mailto:office@jag.or.jp) Tel: 03-3815-1912 Fax: 03-3815-1672

令和6年能登半島地震緊急公開シンポジウムのポスター

文責：原 裕太 (2030 国際防災アジェンダ推進オフィス)  
 永田彰平 (災害レジリエンス共創センター)  
 高橋尚志 (陸域地震学・火山学研究分野)